カーボンニュートラルの実現に向けた事業者アンケート調査票 ［様式１］

企業・団体名　 　［　　　　　　 　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　］

担当者 役職・氏名［　　　 　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 ］

住所 　［　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　］

電話番号 ［　　　　　　　　 　 　 ］　E-mail［　　　　 　　　　　　　　　　　　］

※本社が高知県にある場合は、本社で実施している内容についてご回答ください。本社が高知県にない場合は、高知県を含む、企業全体（支店・工場等）で実施している内容についてご回答ください。

|  |
| --- |
| **【カーボンニュートラルとは】**  事業活動等に伴う「温室効果ガス排出量」と森林等による「温室効果ガス吸収量」が均衡し、実質的な温室効果ガス排出量がゼロとなることを**「カーボンニュートラル（脱炭素）」**といいます。    地球温暖化の影響による気候変動の影響を最小限に抑えるためには、2050年頃までにカーボンニュートラルを達成する必要があるとされており、令和２年10月に我が国も、2050年カーボンニュートラルの実現を宣言しました。  参考HP（環境省）：https://ondankataisaku.env.go.jp/carbon\_neutral/about/  **本県においても、令和２年12月に2050年のカーボンニュートラル実現を目指すことを宣言し、その実現に向けた具体的な取組や目標を示す行動計画として、令和４年３月に「高知県脱炭素社会推進アクションプラン」を策定しました。**  参考HP（高知県脱炭素社会推進アクションプラン）：  https://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/030901/cnap.html  **このアクションプランに基づいて、「2050年カーボンニュートラルの実現」と「経済と環境の好循環」の創出を目指し、森林率全国１位の森林資源をはじめとする豊富な自然資源などの本県の強みや地域の特色を生かした取組を推進しています。** |

**問１　貴事業所の業種について、あてはまる番号１つに○をつけてください。**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 1 | 建設業 | 8 | 不動産業、物品賃貸業 |
| 2 | 製造業 | 9 | 学術研究、専門・技術サービス業 |
| 3 | 電気・ガス・熱供給・水道業 | 10 | 宿泊業、飲食サービス業 |
| 4 | 情報通信業 | 11 | 生活関連サービス業、娯楽業 |
| 5 | 運輸業、郵便業 | 12 | 教育、学習支援業 |
| 6 | 卸売業、小売業 | 13 | 医療、福祉 |
| 7 | 金融業、保険業 | 14 | その他 （　　　　　　　　　　） |

**問２　カーボンニュートラルについてご存じでしたか。（該当する【　】に○を記入してください）**

【　】①　知っていた

【　】②　今回のアンケートで知った

**問３　高知県が2050年カーボンニュートラルの実現に向けて取り組んでいることをご存じですか。（該当する【　】に○を記入してください）**

【　】①　知っている

【　】②　知らない

**問４　現在、貴社において、CO2削減やカーボンニュートラルにつながる取組※を実施していますか。（該当する【　】に○を記入してください）**

**※具体的な取組内容は問６－２（４ページ）、問６－３（５ページ）の選択肢を参考にしてください。**

【　】①　実施している　→続けて**問５**[へ](#すでに対応している)

【　】②　実施していない　→**問13－１（10ページ）**へ

**問４で「①実施している」とお答えいただいた方**

**問５　貴社においてCO2削減やカーボンニュートラルにつながる取組を始めたきっかけについて、以下の選択肢の中から影響が大きい順に５つまで選んで番号を記入してください。**

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 順位 | | 1（　　　　） | 2（　　　　） | 3（　　　　） | 4（　　　　） | 5（　　　　） |
| ① | 国のカーボンニュートラル宣言や取組を受けて | | | | | |
| ② | 県のカーボンニュートラル宣言や取組を受けて | | | | | |
| ③ | カーボンニュートラルに関するセミナーや講演会の受講 | | | | | |
| ④ | CSR（企業の社会的責任）活動として取り組むため | | | | | |
| ⑤ | 取引先からの要請 | | | | | |
| ⑥ | 社会的にカーボンニュートラルにつながる取組が重視されてきたため | | | | | |
| ⑦ | 商工会議所・商工会や業界団体等からの提案 | | | | | |
| ⑧ | 社内での意見 | | | | | |
| ⑨ | 自社のコスト削減のため | | | | | |
| ⑩ | 物価高、資源高への対応のため | | | | | |

上記以外のきっかけがありましたら、ご記入ください。

|  |
| --- |
|  |

**問６－１　具体的な取組内容を教えてください。**

**＜複数回答可＞　（該当する【　】に○を記入してください）**

【　】①　事業活動で使用するエネルギーの省力化（再生可能エネルギーの導入を含む）

【　】②　事業活動で使用するエネルギーの電化※

※例：重油を使用する加熱機器のヒートポンプ等への転換

【　】③　再生可能エネルギー由来の電力の購入

【　】④　カーボンニュートラルに資する新事業の立ち上げや商品開発

※例：製品のプラスチック素材に代わる、環境負荷の少ない新たな素材の開発

【　】⑤　社用車への電気自動車（EV）、ハイブリッド自動車（HV・PHEV）、燃料電池車（FCV）の導入

【　】⑥　カーボンニュートラルに関する社内勉強会の開催や外部の研修会等への参加

【　】⑦　その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

回答いただいた②～⑦の貴社における取組内容について、具体的に教えてください。

|  |
| --- |
|  |

**問６－１で「①事業活動で使用するエネルギーの省力化」とお答えいただいた方**

**問６－２　ハード面の具体的な取組内容について、次の各項目の中から該当する番号に○を記入してください。**

**＜複数回答可＞**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 取組内容 | | |
| 省エネルギー改修 | 高効率照明（LED照明等）への更新 | 1 |
| 省エネルギー性能の高い空調機器（熱源機器やパッケージエアコンなど）への更新 | 2 |
| 省エネルギー性能の高い給湯機器（ボイラー、給湯器など）への更新 | 3 |
| 動力機器（冷温水・冷却水ポンプや給排水ポンプ、送風ファンなど）の高効率化 | 4 |
| 電源設備の高効率化（高効率トランスなど） | 5 |
| BEMS※１やデマンド監視装置などの導入 | 6 |
| ESCO事業※２などの総合的な省エネルギー改修 | 7 |
| サッシ、外壁、屋根など建物の断熱性向上のための改修 | 8 |
| ＺＥB（ネット・ゼロ・エネルギー・ビル）※３化 | 9 |
| その他の省エネルギー化に向けた改修等  （　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） | 10 |
| 再生可能エネルギーの導入など | 太陽光発電システムの導入 | 11 |
| 蓄電池の導入 | 12 |
| 太陽熱利用システム（太陽熱温水器など）の導入 | 13 |
| バイオマスエネルギー（バイオマスボイラー・ストーブなど）の導入 | 14 |
| 天然ガスや燃料電池※４を使用したコージェネレーションシステム※５の導入 | 15 |
| 地中熱利用システムの導入 | １6 |
| その他再生可能エネルギーの導入  （　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） | 17 |

※１　**BEMS：**「ビルディング・エネルギー・マネジメント・システム」の略で、ビルの機器・設備等の運転管理によるエネルギー消費量削減を図るためのシステム

※２　**ESCO事業**：「エネルギー・サービス・カンパニー」事業の略で、省エネルギー改修にかかる全ての経費を光熱水費の削減分で賄うことを基本とする事業。事業者は省エネルギー診断をはじめとするサービス一式を提供し、また、導入による省エネルギー効果を保証する

※３　**ZEB**：建築物・設備の省エネ性能の向上と、太陽光発電等による創エネにより、年間のエネルギー消費量が正味でゼロとなる建築物

※４**燃料電池**：水素と酸素を化学反応させることで電気と熱を発生させる発電装置

※５　**コージェネレーションシステム**：発電を行うとともに、得られた熱を給湯システムや冷暖房などに利用するシステム

**問６－１で「①事業活動で使用するエネルギーの省力化」とお答えいただいた方**

**問６－３　ソフト面の具体的な取組内容について、次の各項目の中から該当する番号に○を記入してください。**

**＜複数回答可＞**

|  |  |
| --- | --- |
| 取組内容 | |
| エネルギー使用量や光熱水費の増減要因を分析し、改善策を検討 | 1 |
| こうちSDGs推進企業への登録 | 2 |
| ISO14001やエコアクション21等の環境経営システムの認証取得 | 3 |
| クールビズ・ウォームビズの実施 | 4 |
| 運用マニュアルの設定など、施設や設備・機器の運用に関する明確なルールの設定 | 5 |
| 施設運用方法に関する職場での話し合い、定期的な見直しの実施 | 6 |
| 省エネ診断の実施 | 7 |
| 省エネ機器や再生可能エネルギーの導入可能性の検討 | 8 |
| 地球温暖化や省エネに関する社内教育の実施 | 9 |
| 地球温暖化や省エネに関する外部セミナーなどへの従業員の参加 | 10 |
| 太陽光発電と蓄電池や電気自動車（EV）を活用したエネルギーの有効活用や、熱・電気エネルギーの地域内融通 | 11 |
| リユース、リデュース、リサイクル（３Ｒ）の徹底 | 12 |
| 職務の合理化など間接的な省エネルギー化への取組 | 13 |
| グリーン購入※１の実施 | 14 |
| EV100※2へ向けた取組 | 15 |
| RE Action※3へ向けた取組 | 16 |
| Jクレジット制度※4の活用 | 17 |
| その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） | 18 |

※１　**グリーン購入**：製品やサービスを購入する際に、環境を考慮して、必要性をよく考え、環境への負荷ができるだけ少ないものを選んで購入する取組

※２　**EV100**：企業による電気自動車の使用や環境整備促進を目指す

※３　**RE Action**：使用する電力の100%を再生可能エネルギーにより発電された電力にする

※４　**Jクレジット制度**：省エネルギー機器の導入や森林経営などの取組による、CO2などの温室効果ガスの排出削減量や吸収量を「クレジット」として国が認証する制度

**問７　貴社において、太陽光発電システム又は蓄電池を導入されている場合は、その規模を教えてください（おおよそで結構です）。**

太陽光発電システム　[　　　　　　]kW

蓄電池　　　　　　　[　　　　　　]kW

**問８　現在の社会的情勢、国や県のカーボンニュートラル宣言等を機に、今後、CO2削減やカーボンニュートラルにつながる取組を強化・拡大することを考えていますか。**

**（該当する【　】に○を記入してください。）**

【　】①　すでに取組の強化・拡大を進めている

【　】②　取組の強化・拡大を検討している

【　】③　引き続き既存の取組を実施

回答いただいた①②の貴社における取組内容について、具体的に教えてください。

|  |
| --- |
|  |

**問９　貴社においてCO2削減やカーボンニュートラルにつながる取組を進めるメリットとして考えられることを教えてください。**

**＜複数回答可＞　（該当する【　】に○を記入してください。）**

【　】①　新事業への参入や、新製品等の開発による売上増加

【　】②　企業ブランド価値の向上

【　】③　省資源・省エネを行うことによるコスト削減効果

【　】④　取引先企業との事業機会損失の回避

【　】⑤　学生など採用対象となる若い世代に向けた企業のPR

【　】⑥　環境保護のための温暖化対策への寄与

上記以外に考えられるメリットがありましたら、ご記入ください。

|  |
| --- |
|  |

**問10　貴社においてCO2削減やカーボンニュートラルにつながる取組を進めるにあたっての課題について、以下の選択肢の中から影響が大きい順に５つまで選んで番号を記入してください。**

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 順位 | | 1（　　　　） | 2（　　　　） | 3（　　　　） | 4（　　　　） | 5（　　　　） |
| ① | CO2削減やカーボンニュートラルに対する社内の意識の譲成 | | | | | |
| ② | 専門的な知識を持つ人材の不足 | | | | | |
| ③ | 取組を実施するための余力（CO2削減等に特化したマンパワー）がない | | | | | |
| ④ | 取組を実施するための余力（資金）がない | | | | | |
| ⑤ | 省エネ機器等の入れ替え時における、事業活動の一時停止による売上減 | | | | | |
| ⑥ | 自社事業でどういう取組をすれば、CO2削減やカーボンニュートラルに寄与するか分からない | | | | | |
| ⑦ | 事業活動で使用するエネルギーの電化が技術的に困難 | | | | | |
| ⑧ | 実施している取組の効果的なPR方法が分からない | | | | | |
| ⑨ | 課題はない | | | | | |

上記以外の課題がありましたら、ご記入ください。

|  |
| --- |
|  |

**問11　貴社において、CO2削減やカーボンニュートラルにつながる取組を進めていくうえで有効だと思う県からの支援策について、以下の選択肢の中から優先順位が高い順に５つまで選んで番号を記入してください。**

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 優先順位 | | 1（　　　　） | 2（　　　　） | 3（　　　　） | 4（　　　　） | 5（　　　　） |
| ① | 太陽光発電設備や蓄電池の導入支援 | | | | | |
| ② | 事業所のZEB化に対する補助の充実（※ZEB：P４※３参照） | | | | | |
| ③ | 使用機器の更新に対する補助の充実 | | | | | |
| ④ | 電気自動車の導入促進（充電スタンドの設置強化・購入補助の充実等） | | | | | |
| ⑤ | 再生可能エネルギー由来の電力の購入への支援 | | | | | |
| ⑥ | カーボンニュートラルに関するセミナーやシンポジウム、イベント等の啓発の強化 | | | | | |
| ⑦ | 省エネルギー化や地球温暖化対策のアドバイザー派遣等を通じた社内人材育成支援の充実 | | | | | |
| ⑧ | 省エネ化やカーボンニュートラルに関する具体的な事例や施策などの情報提供 | | | | | |
| ⑨ | 企業のCO2削減やカーボンニュートラルにつながる取組への評価・表彰制度の導入 | | | | | |
| ⑩ | CO2削減やカーボンニュートラルにつながる取組を進める企業へのインセンティブの創設  （建設公共工事入札参加資格審査時の加点、融資制度の導入等） | | | | | |
| ⑪ | CO2削減やカーボンニュートラルにつながる商品開発や企業間の交流、マッチング支援 | | | | | |
| ⑫ | 電力小売事業や再生可能エネルギー事業への参入支援 | | | | | |
| ⑬ | 使用エネルギー転換のための新技術の開発支援 | | | | | |
| ⑭ | その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） | | | | | |
|  |  | | | | | |

上記以外で有効と考えられる支援策がありましたら、ご記入ください。

また、貴社で取り組んでいる、もしくは検討している具体的な取組への支援の要望などもあれば、ぜひご記入ください。

　　　（例：○○の商品を開発したいと考えており、○○の点での技術的支援）

|  |
| --- |
|  |

**問12　CO2削減やカーボンニュートラル実現に向けた取組に関して、県に対するご意見・ご要望などがありましたら、ご記入ください。**

|  |
| --- |
|  |

アンケートへのご協力、ありがとうございました。

**問４で「②実施していない」とお答えいただいた方**

**問13－１　現在の社会的情勢、国や県のカーボンニュートラル宣言を機に、CO2削減やカーボンニュートラルにつながる取組を始めることを考えていますか。**

**（該当する【　】に○を記入してください。）**

【　】①　取組の開始に向けて社内で検討している　→続けて**問13－２**[へ](#すでに対応している)

【　】②　他企業の動きや社会的情勢を見ながら取組を検討する　→**問18（16ページ）**へ

【　】③　取組を始める予定はない　→**問21（18ページ）**へ

**問13－２　検討している取組内容を教えてください。**

**＜複数回答可＞（該当する【　】に○を記入してください。）**

【　】①　事業活動で使用するエネルギーの省力化（再生可能エネルギーの導入を含む）

【　】②　事業活動で使用するエネルギーの電化

※例：重油を使用する加熱機器のヒートポンプ等への転換

【　】③　再生可能エネルギー由来の電力の購入

【　】④　カーボンニュートラルに資する新事業の立ち上げや商品開発

※例：製品のプラスチック素材に代わる、環境負荷の少ない新たな素材の開発

【　】⑤　社用車への電気自動車（EV）、ハイブリッド自動車（HV・PHEV）、燃料電池車（FCV）の導入

【　】⑥　カーボンニュートラルに関する社内勉強会の開催や外部の研修会等への参加

【　】⑦　その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

貴社において検討している内容について、具体的に教えてください。

|  |
| --- |
|  |

**問13－２で「①事業活動で使用するエネルギーの省力化」とお答えいただいた方**

**問13－３　ハード面の具体的な検討内容について、次の各項目の中から該当する番号に○を記入してください。**

**＜複数回答可＞**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 取組内容 | | |
| 省エネルギー改修 | 高効率照明（LED照明等）への更新 | 1 |
| 省エネルギー性能の高い空調機器（熱源機器やパッケージエアコンなど）への更新 | 2 |
| 省エネルギー性能の高い給湯機器（ボイラー、給湯器など）への更新 | 3 |
| 動力機器（冷温水・冷却水ポンプや給排水ポンプ、送風ファンなど）の高効率化 | 4 |
| 電源設備の高効率化（高効率トランスなど） | 5 |
| BEMS※１やデマンド監視装置などの導入 | 6 |
| ESCO事業※２などの総合的な省エネルギー改修 | 7 |
| サッシ、外壁、屋根など建物の断熱性向上のための改修 | 8 |
| ＺＥB（ネット・ゼロ・エネルギー・ビル）※３化 | 9 |
| その他の省エネルギー化に向けた改修等  （　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） | 10 |
| 再生可能エネルギーの導入など | 太陽光発電システムの導入 | 11 |
| 蓄電池の導入 | 12 |
| 太陽熱利用システム（太陽熱温水器など）の導入 | 13 |
| バイオマスエネルギー（バイオマスボイラー・ストーブなど）の導入 | 14 |
| 天然ガスや燃料電池※４を使用したコージェネレーションシステム※５の導入 | 15 |
| 地中熱利用システムの導入 | １6 |
| その他再生可能エネルギーの導入  （　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） | 17 |

※１　**BEMS：**「ビルディング・エネルギー・マネジメント・システム」の略で、ビルの機器・設備等の運転管理によるエネルギー消費量削減を図るためのシステム

※２　**ESCO事業**：「エネルギー・サービス・カンパニー」事業の略で、省エネルギー改修にかかる全ての経費を光熱水費の削減分で賄うことを基本とする事業。事業者は省エネルギー診断をはじめとするサービス一式を提供し、また、導入による省エネルギー効果を保証する

※３　**ZEB**：建築物・設備の省エネ性能の向上と、太陽光発電等による創エネにより、年間のエネルギー消費量が正味でゼロとなる建築物

※４**燃料電池**：水素と酸素を化学反応させることで電気と熱を発生させる発電装置

※５　**コージェネレーションシステム**：発電を行うとともに、得られた熱を給湯システムや冷暖房などに利用するシステム

**問13－２で「①事業活動で使用するエネルギーの省力化」とお答えいただいた方**

**問13－４　ソフト面の具体的な検討内容について、次の各項目の中から該当する番号に○を記入してください。**

**＜複数回答可＞**

|  |  |
| --- | --- |
| 取組内容 | |
| エネルギー使用量や光熱水費の増減要因を分析し、改善策を検討 | 1 |
| こうちSDGs推進企業への登録 | 2 |
| ISO14001やエコアクション21等の環境経営システムの認証取得 | 3 |
| クールビズ・ウォームビズの実施 | 4 |
| 運用マニュアルの設定など、施設や設備・機器の運用に関する明確なルールの設定 | 5 |
| 施設運用方法に関する職場での話し合い、定期的な見直しの実施 | 6 |
| 省エネ診断の実施 | 7 |
| 省エネ機器や再生可能エネルギーの導入可能性の検討 | 8 |
| 地球温暖化や省エネに関する社内教育の実施 | 9 |
| 地球温暖化や省エネに関する外部セミナーなどへの従業員の参加 | 10 |
| 太陽光発電と蓄電池や電気自動車（EV）を活用したエネルギーの有効活用や熱・電気エネルギーの地域内融通 | 11 |
| リユース、リデュース、リサイクル（３Ｒ）の徹底 | 12 |
| 職務の合理化など間接的な省エネルギー化への取組 | 13 |
| グリーン購入※１の実施 | 14 |
| EV100※2へ向けた取組 | 15 |
| RE Action※3へ向けた取組 | 16 |
| Jクレジット制度※4の活用 | 17 |
| その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） | 18 |

※１　**グリーン購入**：製品やサービスを購入する際に、環境を考慮して、必要性をよく考え、環境への負荷ができるだけ少ないものを選んで購入する取組

※２　**EV100**：企業による電気自動車の使用や環境整備促進を目指す

※３　**RE Action**：使用する電力の100%を再生可能エネルギーにより発電された電力にする

※４　**Jクレジット制度**：省エネルギー機器の導入や森林経営などの取組による、CO2などの温室効果ガスの排出削減量や吸収量を「クレジット」として国が認証する制度

**問14　貴社においてCO2削減やカーボンニュートラルにつながる取組を進めるメリットとして考えられることを教えてください。**

**＜複数回答可＞　（該当する【　】に○を記入してください。）**

【　】①　CO2削減やカーボンニュートラルにつながる新事業への参入や、新製品等の開発による売上増加

【　】②　企業ブランド価値の向上

【　】③　省資源・省エネを行うことによるコスト削減効果

【　】④　取引先企業との事業機会損失の回避

【　】⑤　学生など採用対象となる若い世代に向けた企業のPR

【　】⑥　環境保護のための温暖化対策への寄与

上記以外に考えられるメリットがありましたら、ご記入ください。

|  |
| --- |
|  |

**問15　貴社においてCO2削減やカーボンニュートラルにつながる取組を進めるにあたっての課題について、以下の選択肢の中から影響が大きい順に５つまで選んで番号を記入してください。**

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 順位 | | 1（　　　　） | 2（　　　　） | 3（　　　　） | 4（　　　　） | 5（　　　　） |
| ① | CO2削減やカーボンニュートラルに対する社内の意識の譲成 | | | | | |
| ② | 専門的な知識を持つ人材の不足 | | | | | |
| ③ | 取組を実施するための余力（CO2削減等に特化したマンパワー）がない | | | | | |
| ④ | 取組を実施するための余力（資金）がない | | | | | |
| ⑤ | 省エネ機器等の入れ替え時における、事業活動の一時停止による売上減 | | | | | |
| ⑥ | 自社事業でどういう取組をすれば、CO2削減やカーボンニュートラルに寄与するか分からない | | | | | |
| ⑦ | 事業活動で使用するエネルギーの電化が技術的に困難 | | | | | |
| ⑧ | 実施している取組の効果的なPR方法が分からない | | | | | |
| ⑨ | 課題はない | | | | | |

上記以外の課題がありましたら、ご記入ください。

|  |
| --- |
|  |

**問16　貴社において、CO2削減やカーボンニュートラルにつながる取組を進めていくうえで有効だと思う県からの支援策について、以下の選択肢の中から優先順位が高いものから５つまで選んで番号を記入してください。**

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 優先順位 | | 1（　　　　） | 2（　　　　） | 3（　　　　） | 4（　　　　） | 5（　　　　） |
| ① | 太陽光発電設備や蓄電池の導入支援 | | | | | |
| ② | 事業所のZEB化に対する補助の充実（※ZEB：P４※３参照） | | | | | |
| ③ | 使用機器の更新に対する補助の充実 | | | | | |
| ④ | 電気自動車の導入促進（充電スタンドの設置強化・購入補助の充実等） | | | | | |
| ⑤ | 再生可能エネルギー由来の電力の購入への支援 | | | | | |
| ⑥ | カーボンニュートラルに関するセミナーやシンポジウム、イベント等の啓発の強化 | | | | | |
| ⑦ | 省エネルギー化や地球温暖化対策のアドバイザー派遣等を通じた社内人材育成支援の充実 | | | | | |
| ⑧ | 省エネ化やカーボンニュートラルに関する具体的な事例や施策などの情報提供 | | | | | |
| ⑨ | 企業のCO2削減やカーボンニュートラルにつながる取組への評価・表彰制度の導入 | | | | | |
| ⑩ | CO2削減やカーボンニュートラルにつながる取組を進める企業へのインセンティブの創設  （建設公共工事入札参加資格審査時の加点、融資制度の導入等） | | | | | |
| ⑪ | CO2削減やカーボンニュートラルにつながる商品開発や企業間の交流、マッチング支援 | | | | | |
| ⑫ | 電力小売事業や再生可能エネルギー事業への参入支援 | | | | | |
| ⑬ | 使用エネルギー転換のための新技術の開発支援 | | | | | |
| ⑭ | その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） | | | | | |

上記以外で有効と考えられる支援策がありましたら、ご記入ください。

また、貴社で取り組んでいる、もしくは検討している具体的な取組への支援の要望などもあれば、ぜひご記入ください。

（例：○○の商品を開発したいと考えており、○○の点での技術的支援。）

|  |
| --- |
|  |

**問17　CO2削減カーボンニュートラル実現に向けた取組に関して、県に対するご意見・ご要望などがありましたら、ご記入ください。**

|  |
| --- |
|  |

アンケートへのご協力、ありがとうございました。

**問13－１で「②他企業の動きや社会的情勢を見ながら取組を検討する」とお答えいただいた方**

**問18　貴社においてCO2削減やカーボンニュートラルにつながる取組を進めるメリットとして考えられることを教えてください。**

**＜複数回答可＞　（該当する【　】に○を記入してください。）**

【　】①　CO2削減やカーボンニュートラルにつながる新事業への参入や、新製品等の開発による売上増加

【　】②　企業ブランド価値の向上

【　】③　省資源・省エネを行うことによるコスト削減効果

【　】④　取引先企業との事業機会損失の回避

【　】⑤　学生など採用対象となる若い世代に向けた企業のPR

【　】⑥　環境保護のための温暖化対策への寄与

**問19　貴社において、CO2削減やカーボンニュートラルにつながる取組を進めていくうえで有効だと思う県からの支援策について、以下の選択肢の中から優先順位が高いものから５つまで選んで番号を記入してください。**

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 優先順位 | | 1（　　　　） | 2（　　　　） | 3（　　　　） | 4（　　　　） | 5（　　　　） |
| ① | 太陽光発電設備や蓄電池の導入支援 | | | | | |
| ② | 事業所のZEB化に対する補助の充実（※ZEB：P４※３参照） | | | | | |
| ③ | 使用機器の更新に対する補助の充実 | | | | | |
| ④ | 電気自動車の導入促進（充電スタンドの設置強化、購入補助の充実等） | | | | | |
| ⑤ | 再生可能エネルギー由来の電力購入への支援 | | | | | |
| ⑥ | カーボンニュートラルに関するセミナーやシンポジウム、イベント等の啓発の強化 | | | | | |
| ⑦ | 省エネルギー化や地球温暖化対策のアドバイザー派遣等を通じた社内人材育成支援の充実 | | | | | |
| ⑧ | 省エネ化やカーボンニュートラルに関する具体的な事例や施策などの情報提供 | | | | | |
| ⑨ | 企業のCO2削減やカーボンニュートラルにつながる取組への評価・表彰制度の導入 | | | | | |
| ⑩ | CO2削減やカーボンニュートラルにつながる取組を進める企業へのインセンティブの創設  （建設公共工事入札参加資格審査時の加点、融資制度の導入等） | | | | | |
| ⑪ | CO2削減やカーボンニュートラルにつながる取組商品開発や企業間の交流、マッチング支援 | | | | | |
| ⑫ | 電力小売事業や再生可能エネルギー事業への参入支援 | | | | | |
| ⑬ | 使用エネルギー転換のための新技術の開発支援 | | | | | |
| ⑭ | その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） | | | | | |

上記以外に有効だと思う支援策がありましたら、ご記入ください。

|  |
| --- |
|  |

**問20　CO2削減やカーボンニュートラル実現に向けた取組に関して、県に対するご意見・ご要望などがありましたら、ご記入ください。**

|  |
| --- |
|  |

アンケートへのご協力、ありがとうございました。

**問13－１で「③取組を始める予定はない」とお答えいただいた方**

**問21　貴社においてCO2削減やカーボンニュートラルにつながる取組を始める予定がない理由や課題等について、以下の選択肢の中から影響が大きい順に５つまで選んで番号を記入してください。**

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 順位 | | 1（　　　　） | 2（　　　　） | 3（　　　　） | 4（　　　　） | 5（　　　　） |
| ① | CO2削減やカーボンニュートラルに対する社内の意識の譲成 | | | | | |
| ② | 専門的な知識を持つ人材の不足 | | | | | |
| ③ | 取組を実施するための余力（CO2削減等に特化したマンパワー）がない | | | | | |
| ④ | 取組を実施するための余力（資金）がない | | | | | |
| ⑤ | 省エネ機器等の入れ替え時における、事業活動の一時停止による売上減 | | | | | |
| ⑥ | 自社事業でどういう取組をすれば、CO2削減やカーボンニュートラルに寄与するか分からない | | | | | |
| ⑦ | 事業活動で使用するエネルギーの電化が技術的に困難 | | | | | |
| ⑧ | 実施している取組の効果的なPR方法が分からない | | | | | |
| ⑨ | 課題はない | | | | | |

**問22　貴社において、CO2削減やカーボンニュートラルにつながる取組を進めていくうえで有効だと思う県からの支援策について、以下の選択肢の中から優先順位が高いものから５つまで選んで番号を記入してください。**

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 優先順位 | | 1（　　　　） | 2（　　　　） | 3（　　　　） | 4（　　　　） | 5（　　　　） |
| ① | 太陽光発電設備や蓄電池の導入支援 | | | | | |
| ② | 事業所のZEB化に対する補助の充実（※ZEB：P４※３参照） | | | | | |
| ③ | 使用機器の更新に対する補助の充実 | | | | | |
| ④ | 電気自動車の導入促進（充電スタンドの設置強化・購入補助の充実等） | | | | | |
| ⑤ | 再生可能エネルギー由来の電力の購入への支援 | | | | | |
| ⑥ | カーボンニュートラルに関するセミナーやシンポジウム、イベント等の啓発の強化 | | | | | |
| ⑦ | 省エネルギー化や地球温暖化対策のアドバイザー派遣等を通じた社内人材育成支援の充実 | | | | | |
| ⑧ | 省エネ化やカーボンニュートラルに関する具体的な事例や施策などの情報提供 | | | | | |
| ⑨ | 企業のCO2削減やカーボンニュートラルにつながる取組への評価・表彰制度の導入 | | | | | |
| ⑩ | CO2削減やカーボンニュートラルにつながる取組を進める企業へのインセンティブの創設  （建設公共工事入札参加資格審査時の加点、融資制度の導入等） | | | | | |
| ⑪ | CO2削減やカーボンニュートラルにつながる商品開発や企業間の交流、マッチング支援 | | | | | |
| ⑫ | 電力小売事業や再生可能エネルギー事業への参入支援 | | | | | |
| ⑬ | 使用エネルギー転換のための新技術の開発支援 | | | | | |
| ⑭ | その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） | | | | | |

上記以外に有効だと思う支援策がありましたら、ご記入ください。

|  |
| --- |
|  |

**問23　CO2削減やカーボンニュートラル実現に向けた取組に関して、県に対するご意見・ご要望などがありましたら、ご記入ください。**

|  |
| --- |
|  |

アンケートへのご協力、ありがとうございました。